

広島女大家政 稲田 準子

1. 家庭経営の方法について、家庭で教育される要素を多分に含むと考えられるので、母—娘間の類似がどの面にみられるかを考察しようとする。

2. 20歳代の主婦とその実母（ともに夫健在で、家庭を経営しているもの）とに調査用紙を配布し、家計簿記帳の有無、掃除、洗たくの回数、時刻、家事労働の時間時刻等について記入を求める。

3. 家計簿記帳については、母—娘ともに記帳、または無記帳と一致している場合が多く、類似傾向を示している。

掃除、回数は一般に娘の方が多いが、（幼児を家族構成に含むため）各々多い群と少い群に分けて比較すると、母—娘同様な傾向を示す。時刻は早朝から夜まで分散して、特定の傾向を示さないが、夜就寝前の掃除はやや似た傾向を示す。

洗たく、洗たく機の普及、家族構成の相違等もあり、両者の回数、時刻の一般的傾向はみられなかった。

家事労働の時間については、上記と同様類似傾向はみられなかったが、時刻では、午前には作業量が大きなものに類似傾向がみられる。